

日医標準レセプトソフト ORCA 対応 プリンタ設定ガイド

目次

1.	はじめに	1
2.	動作確認環境	1
3.	注意事項	1
3.1.	日レセシステム環境について	1
3.2.	ご利用プリンタについて	1
3.3.	プリンタパフォーマンスについて	1
4.	プリントデバイス設定	2
4.1.	ネットワーク設定	2
4.2.	エミュレーション設定	4
5.	CUPS利用設定	5
5.2.	PPDファイルのインストール	6
5.3.	ORCA OCRフォント出力設定	12
6.	参考	13
6.1.	RAMディスク オン／オフの設定	13
6.2.	ブラウザ文字化け修正	14

1. はじめに

本手順書は、Debian GNU/Linux 3.1 (Sarge) + 日レセシステム環境から弊社プリンタを利用して印刷を行う際の設定手順書です。

弊社プリンタから印刷を行う際は、本手順書と一緒にダウンロードされます PPD ファイルをお使いください。

※本手順書と一緒にダウンロードされた PPD ファイルは下記環境専用です。他の Linux 環境への適用は確認しておりません。他の環境への適用は、自己責任において実施してください。

2. 動作確認環境

- Debian GNU/Linux 3.1 (Sarge)
- CUPS (ver. 1.1.23)
 - 手順書での設定は、CUPS (ver. 1.1.23)を基に行っています。
- 日レセシステム(ver. 3.4.0)
- x86 互換、32bit CPU を搭載した Debian GNU/Linux3.1 (Sarge)が動作する PC

3. 注意事項

3.1. 日レセシステム環境について

日レセシステム環境（日医標準レセプトソフトをインストール）は ORCA プロジェクト公式サイトを参照してください。

3.2. ご利用プリンタについて

- 日レセシステムからの出力は、動作検証済みプリンタをご利用ください。
- 弊社提供の PPD ファイルを利用して出力する場合には一部オプションとなります KPD(日本語 PostScript3 対応 ROM)の装着が必要になります。

対象機種

- LS-2000D UG-18 の増設が必要です。
尚、ネットワーク接続でご利用になる場合は、ネットワークボード IB-30 または IB-23 の装着が必要です。
- LS-3900DN UG-19 の増設が必要です。
- LS-C5030N 不要です。

3.3. プリンタパフォーマンスについて

日レセシステムからの出力でパフォーマンス等が気になるようであればプリンタ本体側パネルの操作で“RAM ディスク=オフ”に設定を行うか、プリンタ本体に増設メモリを装備することを推奨致します。

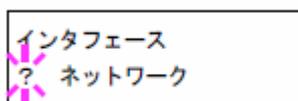
設定方法は、P.13 の参考「6.1. RAM ディスク オン/オフの設定」を参照してください。

4. プリントデバイス設定

CUPS から印刷を行うためにプリンタデバイスの設定でネットワーク設定、エミュレーション設定を行います。

4.1. ネットワーク設定

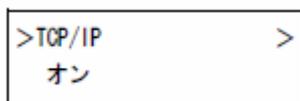
1. プリンタデバイスの[メニュー]キーを押してください。
2. 「インターフェイス >」が表示されるまで、[△]または[▽]キーを押してください。
[実行]キーを押すと「?」が点滅し「パラレル」、「USB」、「ネットワーク」または「オプション」のいずれかが表示されます。



[実行]キーをもう一度押しインターフェイスを選択します。

ここでは「ネットワーク」を選択します。

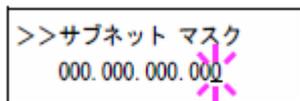
3. TCP/IP プロトコルを有効にします。
[▷]キーを押してください。[△]または[▽]キーを押して「>TCP/IP」をオンにしてもう一度 [実行]キーを押します。



4. [▷]キーを押してください。[△]または[▽]キーを押すごとに次のように変わります。



5. 設定させる項目を表示させ[実行]キーをおしてください。「DHCP」を設定中は、「？」が点滅します。「IP アドレス」や「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定中は、カーソル () が点滅します。



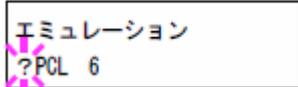
6. 「DHCP」の設定は[△]または[▽]キーで「オン」または「オフ」を選択してください。「IP アドレス」や「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定は[△]または[▽]キーで、カーソルが点滅している場所の数字(000 から 255)を変更してください。[◀]または[▶] キーを使ってカーソルを左右に移動させることができます。
7. [実行]キーを押してください。
8. [メニュー]キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントデキマス」に戻ります。

※ DHCP サーバが稼動している環境では自動的に IP アドレスが割り当てられます。プリントデバイスの[メニュー]キーを押して「ステータスページノインサツ」が表示されるまで[△]または[▽]キーを押してください。[実行]キーを押して選択します。もう一度[実行]キーを押すとプリントデバイスのステータスページが印刷されます。ステータスページから現在割り当てられている IP アドレスを確認できます。

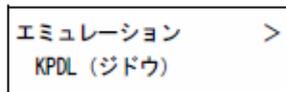
4.2. エミュレーション設定

1. [メニュー]キーを押してください。
2. 「エミュレーション >」が表示されるまで[△]または[▽]キーを押してください。
現在選択されているエミュレーションが表示されます。

3. [実行]キーを押すと「？」が点滅します。

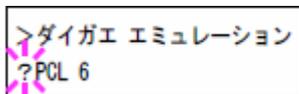


4. [△]または[▽]キーを押して **KPDL (自動) エミュレーション**を表示させて、[実行]キーを押してください。



5. [▷]キーを押します。[△]または[▽]キーを押して「> ダイガエエミュレーション」サブメニューを表示させてください。現在設定されている代替エミュレーション名も表示されます。

[実行]キーを押すと「？」が点滅します。



6. [△]または[▽]キーを押して、**PCL6 エミュレーション**を選択してください。
7. [実行]キーを押してください。
8. [メニュー]キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントデキマス」に戻ります。

5. CUPS 利用設定

CUPS 利用には、弊社が提供します PPD ファイルをお使いください。

弊社提供 PPD ファイルを利用しての出力手順

まず、最初に ORCA OCR フォント出力用フィルターを作成します。その後 PPD ファイルのインストールを行います。インストール後 PPD ファイルの修正を行い ORCA OCR フォントを出力できるようにします。

5.1. ORCA OCR フォントフィルターの作成

1. ORCA OCR フォントを指定するスクリプトファイル置くディレクトリを作成します。ここでは、`/home/orca/printer` とします。

```
# mkdir /home/orca/printer
```

2. vi エディタを起動して ORCA OCR フォントを指定するスクリプトファイル `ps-filter` を作成します。

```
# vi /home/orca/printer/ps-filter
```

[ps-filter の内容]

```
#!/bin/sh
```

```
cat /usr/share/fonts/type1/jma-fonts/orcaocrb.ps /usr/share/fonts/type1/jma-fonts  
/orcaocr.ps --
```

3. 実行権限を付けます。

```
# chmod +x /home/orca/printer/ps-filter
```

以上で `ps-filter` の作成は完了です。

5.2. PPD ファイルのインストール

1. PPD ファイルのインストールを行います。

ダウンロードしました `Kyocera.tar.gz` の解凍を行い、PPD ファイルがあるフォルダ[Japanese] フォルダを適切なディレクトリに配置します。ここでは、`/tmp` 以下に[Japanese]フォルダを配置します。 例：`/tmp/Japanese`

※ [Japanese] フォルダには `Kyocera_LS-2000D.PPD` / `Kyocera_LS-3900DN.PPD` / `Kyocera_LS-C5030N.PPD` の3機種 of PPD ファイルがあります。

ここでは `Kyocera_LS-3900DN.PPD` ファイルについての手順について説明しますが、他の2機種をご使用の場合も設定内容は同じです。

2. PPD ファイルを `/usr/share/cups/model/foomatic-ppds/Kyocera` ディレクトリにコピーします

```
# cp /tmp/Japanese/Kyocera_LS-3900DN.PPD
/usr/share/cups/model/foomatic-ppds/Kyocera
```

3. PPD ファイルをコピー後、CUPS デーモンを再起動しなければ設定が反映されませんので、再起動を行います。

```
# /etc/init.d/cupsys restart
```

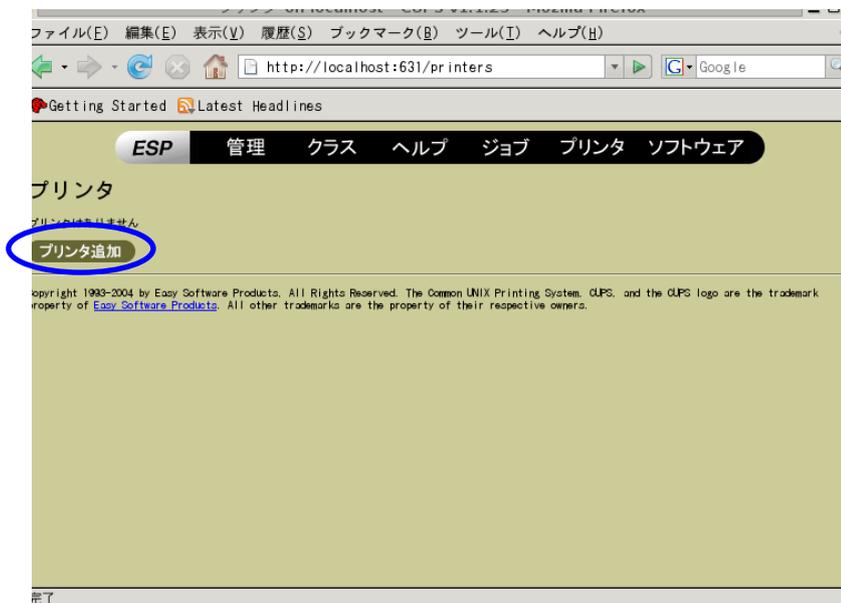
4. CUPS デーモンを再起動後、Web ブラウザを起動します。

※ここでは Web ブラウザとして FireFox を利用しています。

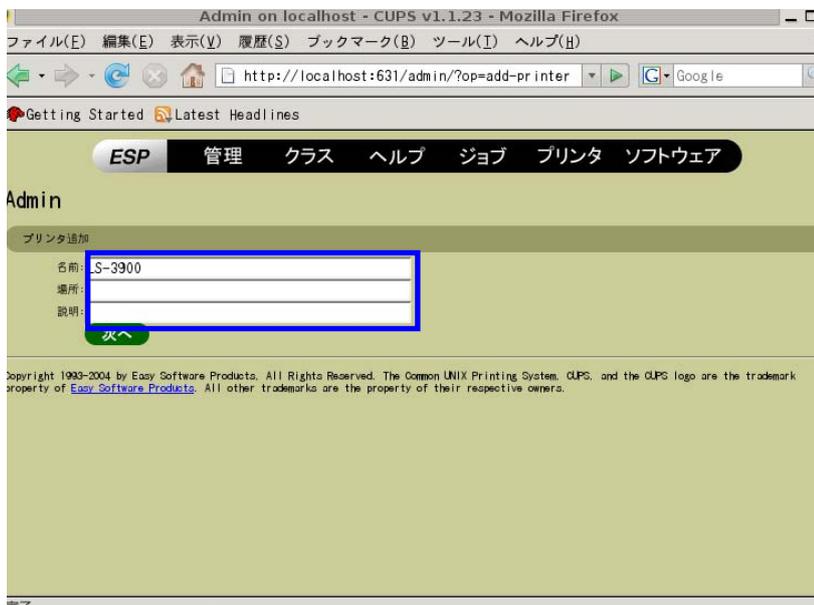
5. Webブラウザが起動したのを確認した後Webブラウザに<http://localhost:631/>と入力します。



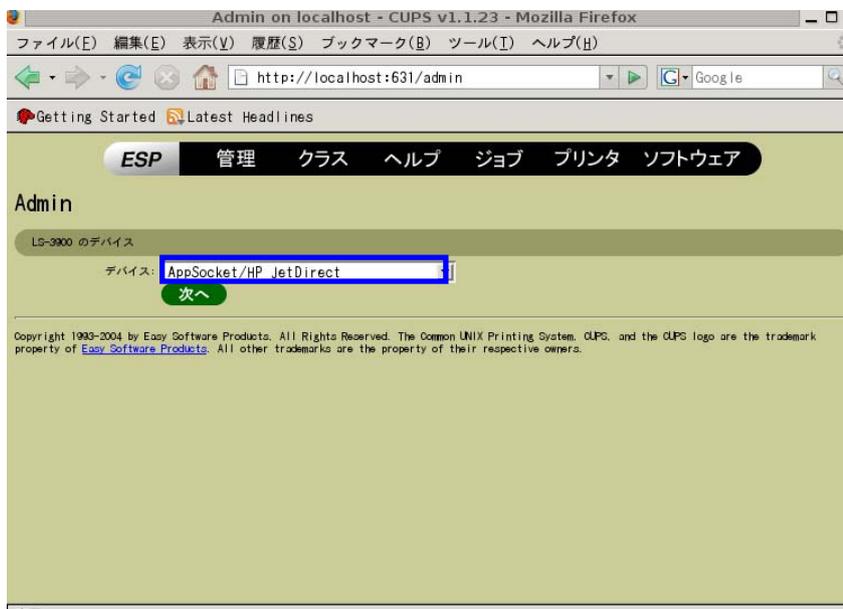
6. CUPS Web ブラウザ画面からプリンタの追加をクリックします。



7. プリンタの追加から名前：にプリンタ名を入力します。
※ここでは、LS-3900 と入力。必要に応じて場所：説明：を入力します。



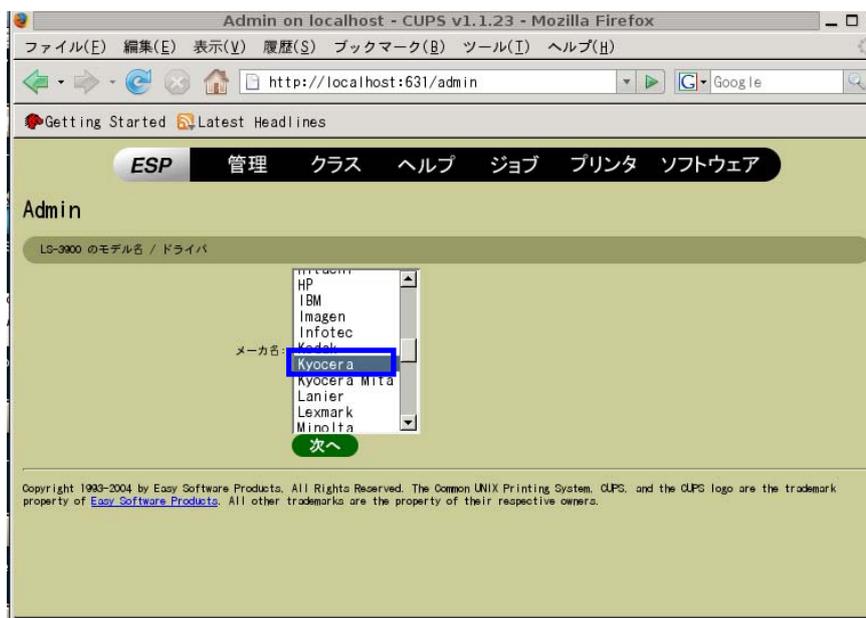
8. CUPS 出力で Back end に送る方法を選択します。
※ここでは **AppSocket/HP JetDirect** を選択しています。



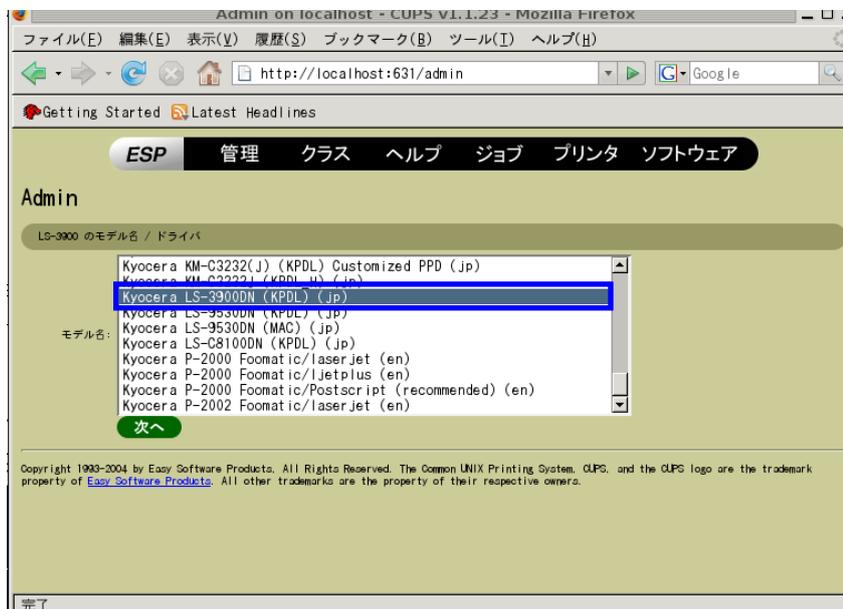
9. プリンタデバイスに割り当てられた IP アドレスを入力します。
Socket://IP アドレス:9100 と入力します。
※9100 はポート番号です。9100 番ポートを使用し TCP 通信で印刷データをプリンタデバイスに送ります。



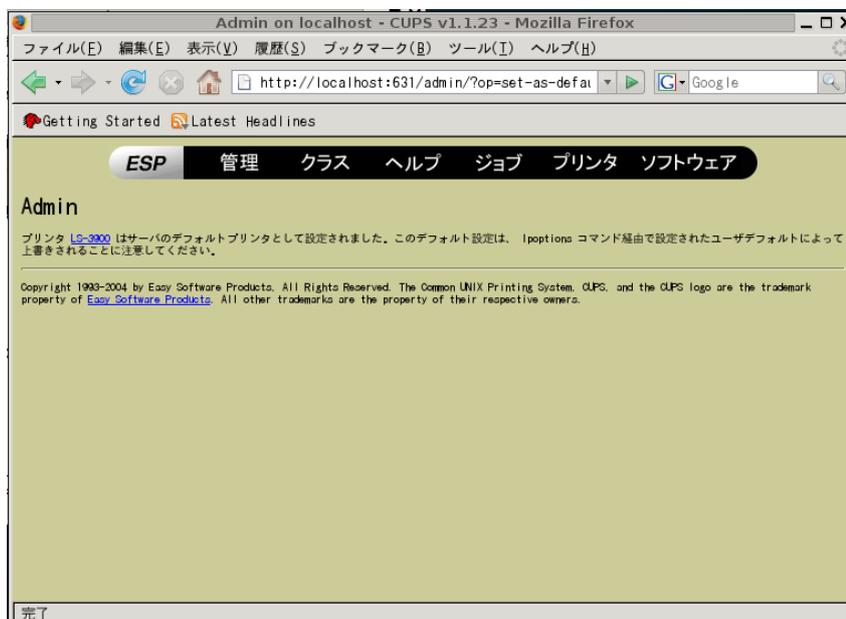
10. メーカー名選択で **Kyocera** を選択します。



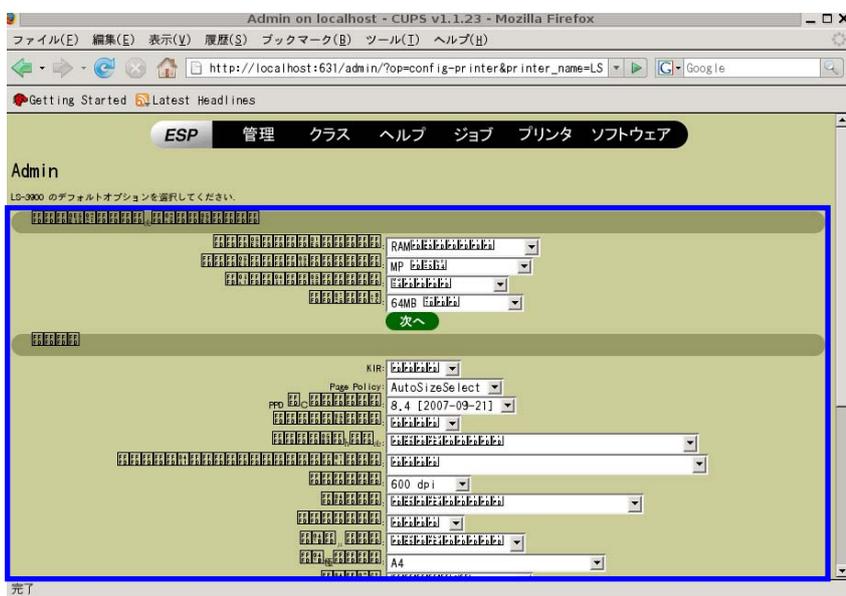
11. ここで手順2.でコピーした PPD ファイルを選択します。
Kyocera_LS-3900DN (KPD) (jp)を選択します。



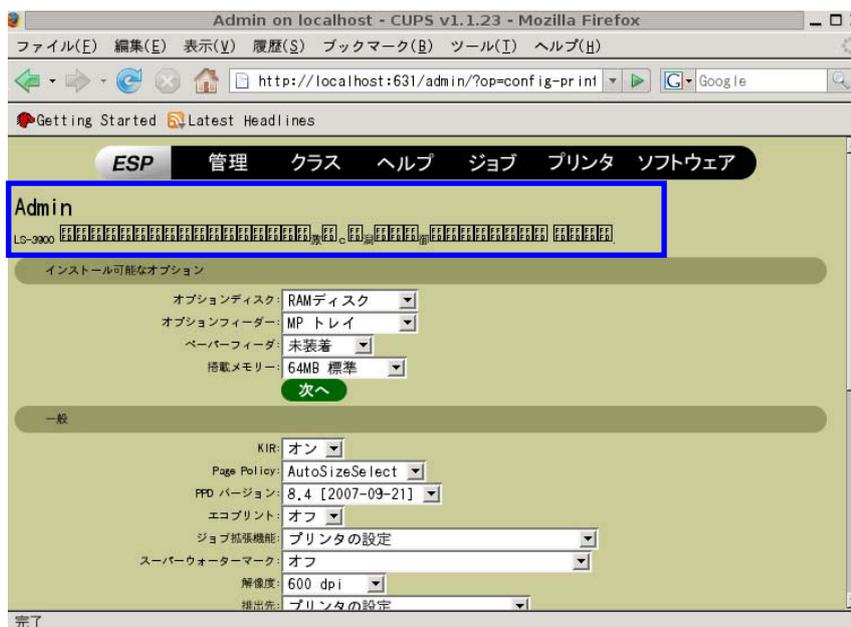
12. PPD ファイルがインストールされたのを確認します。



13. インストールが完了しましたら「印刷設定」タブから印刷設定のオプションを選択し日本語が表示できるか確認してください。Web ブラウザの文字エンコーディングを Unicode (UTF-8) にしますと、PPD ファイル設定内容が文字化けしてしまいますので日本語 (EUC-JP) を選択してください。



14. Web ブラウザの文字エンコーディングを日本語 (EUC-JP)にしますと今度は、Web ブラウザ上で一部文字化けてしまいますが CUPS テンプレート類の文字コードを変更して保存し直すことで解消できます。印刷操作に影響があるわけではございませんので気にしなければそのままでも結構です。
- 変更を行う場合は、P.14 の参考「6.2. ブラウザ文字化け修正」を参照してください。



5.3. ORCA OCR フォント出力設定

1. 最後に、日レセシステムから ORCA OCR フォントを出力するために、
下線部分の一行を LS-3900.ppd ファイルに付け加え、ORCA OCR フォント用フィルターを
指定します。

vi /etc/cups/ppd/LS-3900.ppd

```
orcauser@orcaest: /home/orcauser
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 端末(T) タブ(I) ヘルプ(H)
*FileVersion: "8.4"
*FormatVersion: "4.3"
*LanguageEncoding: EUC-JP
*LanguageVersion: Japanese
*Product: "(LS-3900DN)"
*PSVersion: "(3011.103) 1"
*Manufacturer: "Kyocera"
*ModelName: "Kyocera LS-3900DN KPDL"
*ShortNickName: "Kyocera LS-3900DN (KPDL)"
*NickName: "Kyocera LS-3900DN (KPDL)"
*PCFileName: "LS3900AJ.PPD"
*cupsFilter: "application/vnd.cups-postscript 0 /home/orca/printer/ps-filter"
*% Basic Device Capabilities
*LanguageLevel: "3"
*ColorDevice: False
*DefaultColorSpace: Gray
*TTRasterizer: Type42
```

2. PPD ファイル編集後、CUPS デーモンを再起動します。

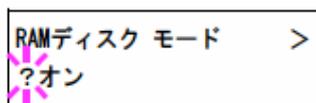
/etc/init.d/cupsys restart

以上で弊社が提供する PPD ファイルのインストールは終了です。

6. 参考

6.1. RAM ディスク オン/オフの設定

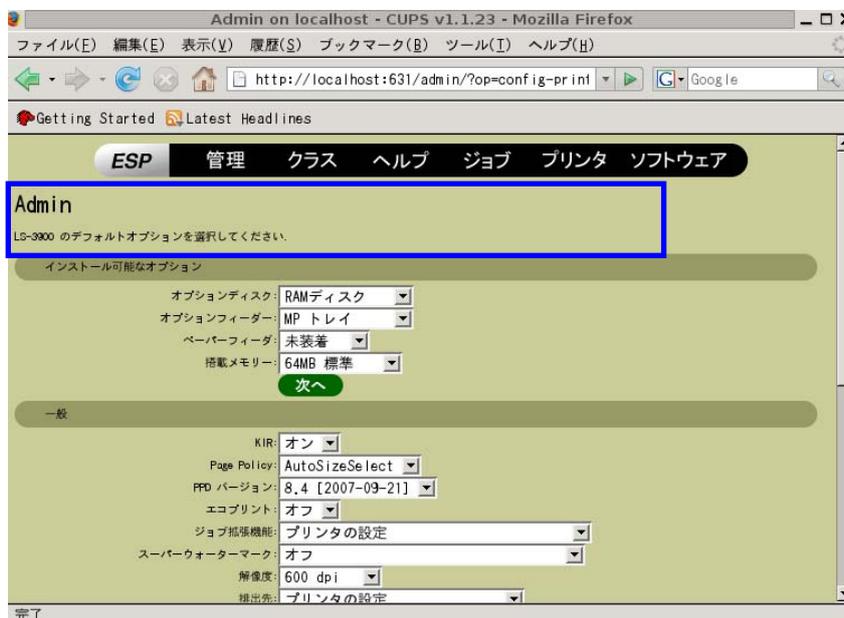
1. プリンタデバイスの[メニュー]キーを押してください。
2. 「RAM ディスクモード >」が表示されるまで[△]または[▽]キーを押します。
3. [実行]キーを押すと「？」が点滅します。[△]または[▽]キーを押して「オン」または「オフ」を選択し、[実行]キーを押します。



4. [メニュー]キーを押します。メッセージディスプレイは「プリントデキマス」に戻ります。

6.2. ブラウザ文字化け修正

Web ブラウザで文字化けが気になる場合は、**config-printer.tmpl** テンプレートを **UTF-8 → EUC-JP** に変更し直すと以下のように文字化けは解消されます。



テンプレート関連のファイルは、**/usr/share/cups/templates/ja** ディレクトリに格納されています。その他プリンタ設定において禁則設定を行った場合に Web ブラウザ画面に表示される文字列のテンプレートもあります。先程と同様に **UTF-8 → EUC-JP** に保存し直します。変更しない場合は文字化けして表示されます。

それらのテンプレートを以下にまとめておきます。

※これらのテンプレートも**/usr/share/cups/templates/ja** ディレクトリに格納されています。

- config-printer2.tmpl
- option-boolean.tmpl
- option-conflict.tmpl
- option-header.tmpl
- option-pickmany.tmpl
- option-pickone.tmpl
- option-trailer.tmpl

商標について

- Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標です。
- Debian は Software in the Public Interest, Inc の登録商標です。
- CUPS、Common UNIX Printing System、Easy Software Products は Easy Software Products.の商標です。
- PostScript は Adobe System Incorporated (アドビシステム社) の米国およびその他の国での登録商標または商標です。
- Mozilla 、Firefox と Firefox のロゴは Mozilla Foundation の米国およびその他の国での登録商標または商標です。

日医標準レセプトソフト
ORCA 対応プリンタ設定ガイド
作成日 : 2007.11.21
バージョン : Ver.1.00